

福島県地球温暖化防止活動推進員 活動事例紹介

～環境啓発活動への取り組み～



会場:福島県環境創造センター 交流棟 コミュタン福島
日付:4月25日(金)13時30分～15時30分

福島県地球温暖化防止活動推進員
布施 賀晶



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

1, 自己紹介

- 名前 布施 賀晶
- 主な活動地域 浜通り
- 推進員になったきっかけなど 推進員の養成研修会へ参加
- 日頃心掛けている温暖防止活動など 身近な所の省エネ
- 推進員になってよかったことや悩んでいることなど ふとした時に環境について考える。小さな活動の積み重ねが大切であると考えている。(今できる事は何か?) そもそもの地球温暖化防止についての知識を得る。
- お持ちの資格など 自然体験活動指導者(NEAL)

令和7年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

2, 活動の紹介

- 日時: 令和6年5月4日
- 場所: 双葉町産業交流センター
(GWのイベント期間を活用)
- 活動の目的: 環境問題の啓発

令和7年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

2, 活動の紹介

●内容
GW期間中のイベ
ント内にてブース
にて実施

①アクションカー
ドゲーム



令和7年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会



2, 活動の紹介

●内容

②未来をつくるSDGsアクションビンゴ



令和7年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

3, 活動の成果と反省点

●反省点

- (1) 事前の告知がほぼ出来ていなかった
- (2) ブースへ呼び込む際の声掛けも工夫が足りなかった

●参加者の反応と質問

⇒カードゲームを通じて、省エネやエコドライブなど日頃の取り組みなどから話のきっかけをつくり、地球温暖化に関する会話へつながった。

●成果

⇒日常からの何気ない取り組みも大切だと改めて気づき、気づかされた。

●この活動で得られたこと

⇒地道な活動の一步が無駄ではないと感じた事。



4, 目指してることと できないでいること

- 理想はどんなこと？
⇒省エネに取り組みの更なる推進
- できてないことは何？
⇒必要性は感じつつも、寒波や猛暑でエアコンの使用量は大きい
- なぜ、できないでいるの？
⇒意識の希薄化
- 課題は？
⇒仕事など普段の生活に追われている(言い訳)



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

5, まとめ

●これからやってみたいことは？

浜通りで夏休み期間などに子供たちと外遊びや川遊びなどを通じて自然環境を考える自然体験活動の実施

●自由意見

出来ることから始めよう！日頃から省エネ、エコドライブ、食品ロス、ごみの仕分け(リサイクル)などちょっとした事で出来ることを積み重ねて行く事が大切と感じます。

令和7年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会